



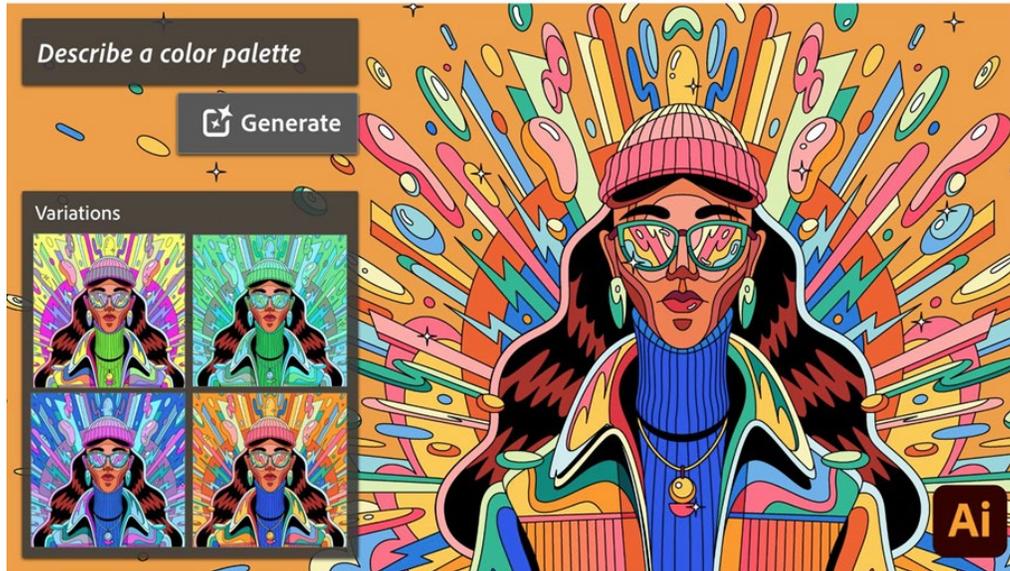
## アドビ、Adobe Illustrator に Adobe Firefly を搭載

- Adobe Illustrator が、広告、オンラインコンテンツ、パッケージなどのデザインでカラーバリエーションの選択を加速する「Generative Recolor」など、最先端のジェネレーティブ AI 機能「Adobe Firefly」を搭載
- Adobe Photoshop と Adobe Express に続き、Adobe Illustrator がアドビの高度なジェネレーティブ AI 機能「Adobe Firefly」を搭載した最新の Adobe Creative Cloud アプリに
- Adobe Photoshop ユーザーは、Adobe Firefly の新機能「生成塗りつぶし」を使用し、わずか 3 週間で 1 億 5 千万枚以上の画像を作成

※当資料は、2023 年 6 月 13 日（グリニッジ標準時）に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳です。

【2023 年 6 月 13 日】

アドビ（Nasdaq:ADBE）（本社：カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、Adobe Firefly の機能「Generative Recolor」を初めて [Adobe Illustrator](#) に搭載したことを発表しました。これらの機能は、デザイナーが簡単なプロンプトを入力するだけで瞬時にさまざまな色のバリエーションを検討できるようにするもので、当初は英語版のベータ版として提供されます（日本語版は後日搭載予定）。今回の新機能は、スキルレベルを問わず、すべてのクリエイターに副操縦士として「Adobe Firefly」を提供し、クリエイティブなビジョンを想像力のスピードそのままに具現化するという、アドビのビジョンをさらに推進するものです。



アドビのクリエイティブなジェネレーティブ AI「Adobe Firefly」を搭載した「Generative Recolor」は、ベクターアートワークの配色を瞬時に変えられるツールで、これまでの手作業を自動化し、反復改善を容易にします。これまで企業は、新しい製品パッケージの開発、ブランディングを再構築する際のロゴ配色の検討、webサイトのリニューアルなどのたびに、候補となる色のバリエーションをすべて手作業で作成していました。Adobe Firefly の高度な技術により、こうしたプロセスは劇的にスピードアップし、デザイナーはよりクリエイティブでやりがいのある他の作業に時間を割くことができます。

アドビには、過去 10 年以上にわたって数々の AI イノベーションを開拓し、Adobe Creative Cloud、Adobe Document Cloud、Adobe Experience Cloud に Adobe Sensei を搭載した何百ものインテリジェント機能を導入してきた実績があります。今年 3 月にリリースされた Adobe Firefly は、当初は画像とテキストエフェクトの生成に焦点を当てており、アドビ史上最も成功したベータ版の1つです。今年 5 月には Adobe Firefly を搭載した「[生成塗りつぶし \(旧名：ジェネレーティブ塗りつぶし\)](#)」が新機能として Adobe Photoshop に導入され、ユーザーは 3 週間で 1 億 5000 万枚以上の画像を作成しました。

アドビのデジタルメディア担当シニア バイス プレジデント アシュリー スティル (Ashley Still) は次のように述べています。「Adobe Illustrator は、ブランドロゴから製品パッケージまで、



世界中の最も成功したデザインの数々を支えてきたツールです。Adobe Firefly は、ユーザーのクリエイティブのプロセスであるアイデア出し、試作、アセット類の制作を加速しつつ、計り知れないほどの時間を節約することで、新たなデザインの可能性を促進します。」

Adobe Illustrator への Adobe Firefly の搭載は、さらなるスピード、精度、パワーであらゆるクリエイティブワークフローを向上させるというアドビの全社的な取り組みを反映しています。Adobe Firefly は、クリエイターのワークフローに直接組み込むことができ、商用利用にも安全に使用できるよう設計されています。また、今日、プロフェッショナルな品質のコンテンツを生成する、最も差別化された AI サービスです。企業は、自社ブランドのアセットで Adobe Firefly をカスタムトレーニングし、API を使用してブランド独自のスタイルとブランド言語でコンテンツを生成し、自動化を促進することができます。また、Adobe Firefly を利用したワークフローで生成されたコンテンツについて、アドビから知的財産権に関する補償を受けることができるため、安全に組織全体に展開することができます。

### **イメージを言葉で表現してベクターアートに反映できる「Generative Recolor」**

本日発表した「Generative Recolor」は「正午の砂漠」や「真夜中のジャングル」のように、言葉で表現されたイメージの本質を捉えてカスタムするカラーテーマを生成し、ベクターアートワークに適用します。シンプルなテキストプロンプトの入力だけで、複雑なベクターグラフィックに自動的にカラーを一斉適用できるこの先進的な機能により、アーティストは個々のベクターを手動で修正する必要がなく、時間を節約できます。これにより、ブランドアイデンティティから広告・マーケティング用のグラフィック、デジタルドローイングやイラストレーション、インスピレーションやムードボードの作成まで、クリエイティブなプロセスを劇的に効率化します。デザイナーは、1つの製品パッケージデザインからいくつものカラーバリエーションを作成してテストしたり、特定の季節や祝日ごとに異なるバリエーションの広告を作成したり、無数のカラーコンビネーションによるイラストの制作が可能になります。



Generative Recolor の新機能は以下のとおりです。

- **テキストプロンプトでの配色**： シンプルなテキストプロンプトの入力だけで高度なグラフィックの再配色を素早く行えるため、時間の節約に
- **カラーの探索と適用が手軽に**： さまざまなカラー、パレット、テーマを手軽に試し、アートワークに適した見た目や雰囲気を実現
- **カラーバリエーションをいくつでも生成可能**： 1つのアートワークから無数のカラーバリエーションの生成により、アートワークの SNS、印刷物、web での展開を促進

## Adobe Illustrator のその他の新機能

最新バージョンの Adobe Illustrator には、「ReType（フォントの再編集）ベータ版」、新しいレイヤー機能、画像トレース機能の強化などの新機能も含まれており、アートワークをこれまで以上にスピーディかつ簡単に作成できるようになりました。詳しくは[こちら](#)（英語）をご覧ください。

## 提供時期

最新バージョンの Adobe Illustrator は、新しいレイヤー機能や画像トレース機能の強化も含め、本日より公開を開始しています。また、Adobe Firefly の機能「Generative Recolor」は英語版の Illustrator（ベータ版）として搭載されます。日本語版への搭載は後日を予定しております。また新機能の「ReType（フォントの再編集）」は、日本語版でもベータ版として搭載されています。

■アドビと人工知能（AI）について



アドビは、AI を人間のクリエイティビティを拡張する副操縦士として、世界をより創造的で生産的、かつパーソナライズされたものにしていきます。過去数十年にわたり、Adobe Sensei を通じて Adobe Creative Cloud、Adobe Document Cloud、Adobe Experience Cloud 全体で何百ものインテリジェントな機能を提供し、顧客のより効率的な制作、作業、コラボレーションを可能にしてきました。

クリエイティブなジェネレーティブ AI 「Adobe Firefly」 は、さらなる精度、パワー、スピード、そして手軽さをアドビのワークフローに直接もたらします。これは、アドビ独自の AI 機能であり、商業利用にも安全に使用可能な、プロ仕様の高品質なコンテンツを生成する独自のデータセットに基づいて開発されています。

Adobe Sensei GenAI サービスは、Adobe Experience Cloud のワークフローにおいて、よりスピードと生産性を提供することで、企業が顧客体験を提供する方法を再定義します。Adobe Sensei GenAI は、ブランドがあらゆる顧客接点においてテキストベースの体験を即座に生成または修正することを可能にして、さらにさまざまな大規模言語モデル（LLM）を活用することができます。これらのイノベーションは、Adobe Experience Platform（AEP）を基盤としており、顧客データとコンテンツを組織全体で1つの共通言語モデルの下に統合します。

アドビは、個人や企業といったあらゆる規模の事業に対して信頼できるパートナーであり、コンテンツやデータの透明性を確保するために、コンテンツクレデンシャル機能（デジタルコンテンツの成分表示ラベル）を軸として、顧客中心のアプローチとアドビの AI 倫理原則に基づきあらゆる AI 機能の開発および展開を行っています。

## ■「アドビ」について

アドビは、「世界を動かすデジタル体験を」をミッションとして、3 つのクラウドソリューションで、優れた顧客体験を提供できるよう企業・個人のお客様を支援しています。[Creative Cloud](#) は、写真、デザイン、ビデオ、web、UX などのための 20 以上のデスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#) では、デジタル文書の作成、編集、共有、サイン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。



[Experience Cloud](#) は、コンテンツ管理、パーソナライゼーション、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能（AI）と機械学習のプラットフォームである [Adobe Sensei](#) を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。日本市場においては、人々の創造性を解放するデジタルトランスフォーメーションを推進するため、「心、おどる、デジタル」というビジョンのもと、心にひびく、社会がつながる、幸せなデジタル社会の実現を目指します。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2023 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

###

【報道関係お問い合わせ先】

アドビプレスデスク

E-mail: [AdobeJapanPR@edelman.com](mailto:AdobeJapanPR@edelman.com)

エデルマン・ジャパン株式会社内：小川、大嶽、矢部

TEL: 080-4297-6498（矢部）

株式会社トークス内：坂本、辻本

TEL：03-3261-7715

アドビ株式会社



広報担当: 吉原

[pr-jp@adobe.com](mailto:pr-jp@adobe.com)